Creative Enzymes®

ネイティブ鳥類骨□芽球腫ウイルス AMV-リバーストランスクリプターゼ

Cat. No. NATE-0073

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	逆転写酵素（RT）は、RNAテンプレートから相補的DNA（cDNA）を生成するために使用される酵素であり、このプロセスは逆転写と呼ばれます。主にレトロウイルスに関連しています。しかし、非レトロウイルスもRTを使用します（例えば、Hepadnaviridaeの一員であるB型肝炎ウイルスは、dsDNA-RTウイルスであり、レトロウイルスはssRNAウイルスです）。RT阻害剤は、抗レトロウイルス□として広く使用されています。RT活性は、染色体末端の複製（テロメラーゼ）やいくつかの移動遺伝要素（レトロトランスポゾン）とも関連しています。
用途	AMVリバーストランスクリプターゼは、RNAテンプレートに□して相補的なDNA（cDNA）を合成します。転写の開始には、RNAテンプレートに相補的なDNAプライマーと、二価カチオン（MgまたはMn）が必要です。この酵素は、最終的なクローニングやプローブとしての使用のために、mRNAからcDNAを作成するために一般的に使用されます。
別名	DNAヌクレオチジルトランスフェラーゼ (RNA指向); リバーストランスクリプターゼ; リバーテース; RNA依存性デオキシリボ核酸ヌクレオチジルトランスフェラーゼ; RNAリバーテース; RNA依存性DNAポリメラーゼ; RNA指示型DNAポリメラーゼ; RT; EC 2.7.7.49; 9068-38-6

製品情報

由来	鳥類骨□芽球腫ウイルス
EC番号	EC 2.7.7.49
CAS登□番号	9068-38-6
単位定義	1ユニットは、ポリアデニル酸をテンプレートとして、オリゴ(dT)12-18をプライマーとして使用し、37°Cで10分間でTCA沈殿物に1 nmolのdTTPを取り込む。

保管・発送情報

保存方法	−70°C